

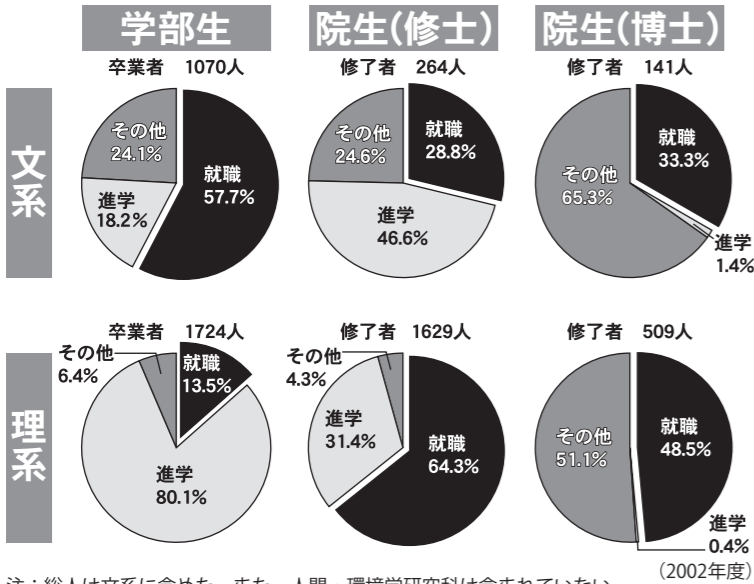
就職活動最前線

あなたは、大学を卒業した後の進路を考えたことがあるだろうか。進学、それとも就職？ 大学院に進んだとしても同じ問題はつきまってくる。

社会に出ていくなれば、就職活動をしなければならない。では、いざあなたがその立場に立たされたとしたら、いつから、何を始めたらいいのだろうか。

現在の就職活動の状況を知ること、人生設計の第一歩を踏み固めてほしい。(Leap year)

▼京大生の進路



京大では、文系は学部卒で、理系は修士卒で就職だと言われているが、その通りの結果になっているようである。「文系は大学院に進学すると就職しにくい」という話を聞くと、大学院進学をためらってしまうのかもしれない。

博士課程に進学すると、文理ともに就職が厳しくなる。もちろん年齢的なこともあるだろうが、研究に力を入れていたために就職活動を満足に行えなかった人もいようだ。

お薦めのホームページ

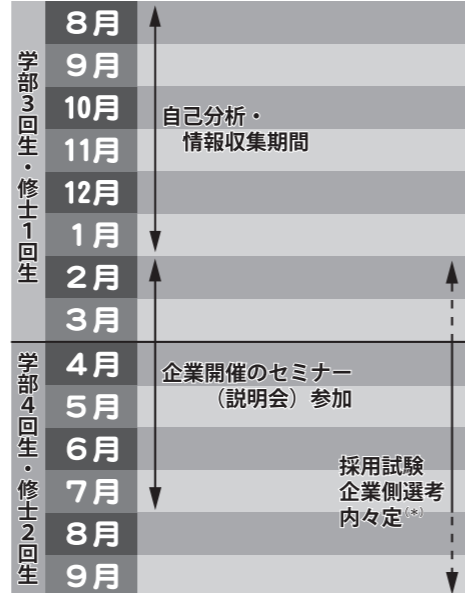
就職活動を行うにあたって、とにかく必要になってくるのが企業の説明会や採用に関する情報。そのようなことを調べたいときはホームページを活用しよう。就職活動の心構えや体験談も参考になることだろう。

- 毎日就職ナビ <http://job.mycom.co.jp/>
 - 日経就職ナビ <http://job.nikkei.co.jp/>
 - Yahoo! 就職情報 <http://fresh.employment.yahoo.co.jp/fresh/>
 - リクナビ <http://www.recruitnavi.com/>
- このほかにもたくさんのページがある。自分で探してみると良いだろう。

はみだしすてーじ

「大富豪」の地方ルールですが、「階段」というのがあって連続する数は3枚1組で出せる。強さは真ん中の数が基準。(経・3 リンゴ酸) ⇒8切り、縛りと並ぶ有名ルールですね。(イレブンバックよりはメジャー；編)

▼就職活動の流れ



(*)企業の倫理憲章で「内定」は10/1以降と決められている

もちろん就職活動に決まった方法は存在しないが、一般的には「自分を見つめる」→「自分に向いている企業を探す」→「採用試験を受ける」という流れで進めていくようである。ただし、自己診断などの結果を鵜呑みにすることなく、自分のやりたいことを見つけ出すことも重要だ。

▼就職活動関係者に聞く

人気企業ランキング文系1位(毎日コミュニケーションズ調べ)のJTB(日本交通公社)

学生の就職希望先として高い人気を誇るJTBに、「求める人材」「面接のときに重視するポイント」について伺った。

◆JTBが求める人材

- ・『対人コミュニケーション能力』をもつ人
組織の一員として協調性をもつ人。相手の状況を理解し、問題点を見つけ折衝ができる人。
販売・営業会社社員としてお客様とのコミュニケーションが取れる人。
- ・『柔軟な思考と行動力』をもつ人
前向きに物事を考え、スピーディーな行動を取ることができる人。明るさと粘り強さを兼ね備えている人。
- ・『問題意識をもち、課題発見』ができる人
常にお客様の立場に立ち、ニーズにこたえられる人。
自ら考え行動・提案できる人。
- ・『探究心と向上心』『競争心と闘争心』をもつ人
多くの引出しから、自ら情報を取り出そうと努力をする人。
厳しい競争を勝ち抜いていく気概を持っている人。
モチベーションを保ち、目標に向けてやりきることができる人。
- ・『魅力的な個性・特性』をもつ人
自身のアイデンティティとなる何かを持ち合わせている人。

◆面接のときに重視するポイント

- 一次面接→一緒に働きたい人材かどうか
 - 二次面接→何か光るものがあるか
- 落とすためのあら探しではなく、良いところを評価する。マニュアル化された対応をするのではなく飾らずに自分自身をアピールしてほしい。

▼就職活動を行っている人々の声

農学部 4回生

- Q. 就職活動を始めた時期は？
- A. 3回生の11~12月から。セミナーに行って、各企業のブースを回った。
- Q. 企業の探し方は？
- A. パンフレットなどで見るよりも、企業の人に直接会って、雰囲気を知った。
- Q. 就職活動をしていく上で注意すべき点は？
- A. スケジュール管理が大切。例えば、写真を撮ったり、エントリーシート^(※)を書いたりするだけでも意外と時間を取られる。また、説明会などの日程が重なることがあるので、優先順位をつけて行動することが重要。

(※) エントリーシート
企業が質問したい内容を、あらかじめ学生に書いてもらうための用紙。学生時代のことや志望動機を書かせることが多い。

はみだしすてーじ

4種類の同じ数字を出す「革命」になりますよね？ ⇒私はこれが標準ルールだと思っていたんですが…。

学内で就職活動を支援する キャリアサポートセンター

- Q. 企業が採用するときに重視するポイントはどこですか？
- A. 昔に比べると、「学力重視」から「人物重視」に変わっています。面接を何度も行い、コミュニケーション能力や協調性を確かめます。仕事をしていく上での人付き合いに重きが置かれるようになっているようです。
- Q. 「資格」を持っていると就職に有利と言われますが、就職活動を行う上で持っておくべき資格はありますか？
- A. 就職活動の時点で飛び抜けた能力があれば話は別ですが、資格があれば特別有利になるかは疑問です。企業側も、必要な資格は入社してから取らせることがありますし。
- Q. これから就職活動をする上でのアドバイスなどがあればお願いします。
- A. よく、企業の人事の方から「京大生は元気がない」と言われます。講演会などで挨拶をすると、2回くらい言ってやっと小さな返事が来るくらいなんだそうです。就職活動では、自己アピールをすることが必要です。もっと、積極的に自分を売り込むことが必要だと思いますね。

KEY POINT 「学力重視」→「人物重視」
ペーパーテストなどで判断できる学力よりも、面接などで評価する人物像に重きを置くようになってきている。コミュニケーション能力や自己アピール能力など、新しい時代に対応できる能力が求められている。一緒に働きたい人材かどうかというの大きな判断材料になっているようだ。

工学研究科 修士2回生

- Q. 就職活動を始めた時期は？
- A. 修士1回生の12月から。友人から、早めに面接の勉強はしておいた方がよいと発破をかけられたため。
- Q. 企業の探し方は？
- A. 学部の中で「学校推薦」という枠があり、その企業を受けている。また、自分で探した企業もいくつかある。
- Q. 就職活動中の失敗談や教訓は？
- A. まず、就職活動は情報戦だということ。ネットには同じ企業を受けた人の体験談などが載っているの、そういう情報はあらかじめ調べておくべきだった。学校推薦の企業については、就職活動をしている人たちでお互いに情報交換をしている。また、面接では、エントリーシートや履歴書の内容を聞かれるので、面接のときコピーを持っておくべきだった。

(大富豪について…) (文・1 3ちゃん)
⇒階段革命ってのもありますよね？(編)